



Hideyo Noguchi Memorial Infectious Disease Museum

野口英世記念 感染症ミュージアム

感染症への新たな一歩がここから始まる



Louis Pasteur
1822-1895



ルイ・パスツール
(フランス・1822-1895)

Microbes do not arise from nonliving matter, but from microbes

Robert Koch
1843-1910



ロベルト・コッホ
(ドイツ・1843-1910)

The Koch's postulates to identify the causative agents of infectious diseases

感染症の過去と現在を未来へつなぐ



Hideyo Noguchi Memorial Museum

野口英世記念館



世界各国で流行した
感染症の研究に生涯を捧げた
医学者野口英世



野口英世記念感染症ミュージアムについて

感染症の過去と現在を未来につなぐ

20世紀半ばから新たな感染症が次々と出現し、われわれの新たな脅威となっています。その中でも新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックは、過去に繰り返された感染症と人間の闘いの記憶を、現代社会に呼び起こす出来事となりました。

有史以来、多くの感染症が幾度となく猛威を振るい、多くの命を奪ってきました。近代医学は、感染症の克服に挑んだ人間の英知と努力とともに進歩し、多くの感染症を制圧してきました。

野口英世記念館に隣接する「感染症ミュージアム」は、過去から現在まで人間が築きあげてきた感染症の知識と経験、さらに未来に向けた歩みを紹介する施設で、感染症に対する正しい知識を学ぶことができます。



野口英世記念 感染症ミュージアムの見どころ①

第1室 感染症とは何か



● 近代医学の夜明け

長い間、正体不明の病だった感染症は、顕微鏡の発展に伴い、微生物との関係が証明されたことで病原体の解明が進みました。パスツール、コッホが拓いた近代医学の始まりを伝えます。

● 感染症とは何か

感染症の原因である寄生虫・原虫、細菌、ウイルスの大きさの違いや姿、感染症発症のメカニズムや治療薬の開発など、感染症を理解する基礎的な知識を伝えます。



野口英世記念 感染症ミュージアムの見どころ②

第2室 感染症と人間の闘い



メッセージシアター 「感染症の歴史といま」

感染症は制圧できると人間が思い始めた20世紀半ば。未知の感染症が次々現れ、今世紀は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に直面しています。その原因は何か?感染症への対応の過去・いま、これからを大型映像で伝えます。



感染症と人間の闘い

有史以来多くの人命を奪ってきた感染症。社会をも一変させるこの脅威に、人間はどのように対抗してきたのか。9つの感染症を通して、感染症と人間の闘いの歴史といまを概観します。



「感染症終息の切り札 —ワクチン—

ジェンナーによる牛痘接種法以来、感染症予防に最も有効な手段とされ、20世紀には天然痘を根絶に導いたワクチン。その開発のあゆみと現在の到達点を紹介します。



感染症の未来

未来のパンデミックを防ぐために近年重視されている新たな概念「ワンヘルス」とともに、新型コロナウイルス感染症への対応で実用化されたさまざまな新技術、今後の技術革新の展望について紹介します。

野口英世&記念館について

●千円札でおなじみの顔 野口英世

千円札の肖像画でおなじみの野口英世は、1876(明治9)年、福島県猪苗代町に生まれました。1歳半の時に大やけどを負い左手が不自由となりましたが、家族・恩師・友人の励ましと支援によりその苦難を克服しました。15歳のとき、左手の手術を受け医学のすばらしさを実感し、自らも医学の道を志しました。1900(明治33)年にアメリカに渡り、ロックフェラー医学研究所で細菌学の研究をしました。世界で活躍する細菌学者となりノーベル賞の候補にも挙がりました。1928(昭和3)年、西アフリカのアクラ(現ガーナ共和国)で黄熱病の研究中に感染し亡くなりました。

猪苗代町にある野口英世記念館は、生家と2階建ての展示室で生涯と業績、英世が研究をした細菌の世界を紹介する施設で、どの世代でも楽しめます。



2号券 (A000002A)

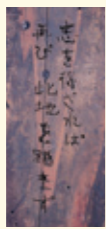
野口英世記念館の見どころ①

野口英世の生家(国登録有形文化財)

野口英世が16歳まですごしていた生家を、場所も大きさも当時のまま保存、公開しています。1歳半の時に運命を変えた火傷を負った囲炉裏や、医師になるために上京する際に決意の言葉を刻んだ床柱をご覧ください。2019(平成31)年3月に国の登録有形文化財に認定されました。



場所も大きさも当時のまま変わらず、今も残る生家



床柱の決意文



英世の運命を変えた火傷を負った囲炉裏

野口英世記念館の見どころ②

楽しく学べる体験型展示



野口英世が研究した細菌は、ふだんは目に見えない小さなものです。形や生態など様々な特徴を持つ細菌の不思議な世界を映像やクイズなどでわかりやすくご紹介いたします。また、細菌の培養など英世が挑んだ細菌の世界をゲームやタッチパネルで体験しながら学ぶことができます。



知れば知るほど面白い細菌の世界



英世の助手を体験できるコーナー

記念館のおもてなし

撮影スポット&ワークシート



好評の撮影スポット



ワークシート/鉛筆付き。初級・中級・上級編3種

I

館内写真撮影自由。野口英世と一緒に写真撮影ができます。また、見学しながら野口英世の世界を学べる「ワークシート」もご用意しています。

野口英世記念館の見どころ③

母シカとの母子の絆

母シカがアメリカにいる英世に宛てた、唯一残る直筆の手紙を展示しています。長い年月会うことができない英世に、一目会いたいという気持ちが切々と綴られています。英世が受け取った時の情景をイメージし、方言による音声朗読でお聞きいただけます。



母親の愛情あふれる手紙



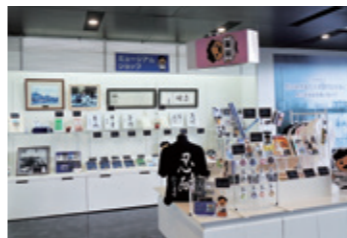
リアルに動く野口英世アンドロイド

野口英世アンドロイド

研究室では、野口英世がみなさんをお待ちしています。ボタンを押すと、英世そっくりのアンドロイドが身振り手振りを交えて、質問に答えたり、元気になるメッセージをお伝えします。

記念館のおもてなし

ここでしか買えない野口英世関連商品



すべてオリジナル、他では手に入らないグッズがたくさん

ミュージアムショップでは、1点80円(税込み)の文具など手取りやすい商品が多数あります。実用性とデザイン性を兼ね備えた商品を取り揃えています。ここでしか買えない野口英世関連商品を販売しています。

こちらから商品一覧をご覧ください



交通のご案内



- 東北新幹線 郡山駅乗りかえ 磐越西線猪苗代駅下車、バス10分、タクシー6分。
- 磐越自動車道・猪苗代磐梯高原インターから国道49号線を会津若松方面へ約5分。

開館日	野口英世記念館 年中無休(ただし12月29日から1月3日まで休館)
	感染症ミュージアム 3月16日~11月30日まで開館
開館時間	4月~10月 午前9時~午後5時30分(入館は午後5時まで)
	11月~3月 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料金

■入館券(野口英世記念館+感染症ミュージアム)

一般	大人(15歳以上)	1200円	子ども(小・中学生)	550円
一般団体(20名様以上)	大人(15歳以上)	1100円	子ども(小・中学生)	450円
学生団体(学校引率)	高校・大学・各種学校生	800円	小・中学生	450円

■特別入館券(野口英世記念館のみ・冬期・学校行事)

一般	大人(15歳以上)	800円	子ども(小・中学生)	400円
一般団体(20名様以上)	大人(15歳以上)	700円	子ども(小・中学生)	300円
学生団体(学校引率)	高校・大学・各種学校生	500円	小・中学生	300円

音声ガイド



無料音声ガイド導入
(日英二か国語対応)

ご利用の際はイヤホン・ヘッドホンをご使用ください。



HNMF

公益財団法人 野口英世記念会
Hideyo Noguchi Memorial Museum
野口英世記念館



〒969-3284 福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81(三城湯)
Tel: 0242 (65) 2319 Fax: 0242 (65) 2500 E-mail: office@noguchihideyo.or.jp